

【市内で京北を宣伝してます】

伏見区龍馬通りにあるカフェに、京北など京都市山間地域が掲載された里山暮らしを紹介する冊子と、今年の4月20日に開催される京北トレイルランのパンフレットを置いてもらいました。いつも人気があってすぐ無くなってしまいますので、この日はいっぱい持って行きました。最近「京北ってどんなところ？」と尋ねる若い世代も多くいるようで、店員さんからも京北の事がもう少し詳しく載っている冊子があればなあ、という話になりました。京北の人気、じわじわと若い世代にも伝わっています。



【北国からお客さんが来ました】

1月9日、雪がしんと降りる京北に、かがやき隊に興味を持った好青年が岩手県から視察に来てくれました。ネットで京北を発見し興味を持ってくれたそうですが、わざわざそんな遠方から来て視察なんてすごい！個人的にはいっぱい積もったなあ、と感じましたがやはり本場・北国出身の彼が言うには「まだ優しい方ですね」との事。いやはや、豪雪の厳しさを知っている方は心強いです。雪景色の常照皇寺や、私が京北で親切にして頂いている方々の所を訪れ、京北の人々や、暮らしがどんな風かを感じて頂けたかと思います。かがやき隊がスタートしてから年々希望者に良い人達が多くて、これからの京北はもっと良くなるのだろうな、とワクワクします。



かがやき 新聞 2月号

京都市役所 文化市民局 地域自治推進室

京都市北部山間かがやき隊

京北担当 菅本 千尋

お問い合わせ (右京区役所 京北出張所)

電話(075)852-1811

E-mail suqdc132@city.kyoto.lg.jp

【お家が一軒出てきました】

先月の新聞効果、ではないのですが新たに「引越したい方がいれば紹介してくれて良いよ」という物件が出ました。早速移住希望をしている方にご連絡を入れると「是非見たいです」と連絡が入り持ち主様へ連絡を入れると「そんなに早く見つかるものですか」と驚かれていました。今月だけでも移住のお問い合わせが5件あり、年々京北内の空き家の需要が増えています。大事なお家だからこそ、持ち主がかわってもそこに在り続ける事こそが大切で、それがきっかけとなり地域へ若い世代が移り住むバトンタッチの機会を提供して頂ければ、と思います。



【右京区役所で勉強会】

1月24日は右京区役所内で職員向けに行われた勉強会に参加しました。講座内容は「普段使っている言葉、本当に伝わってますか？」というお題で、まちづくり・地方創生など便利だけど分かったような分からない言葉「マジックワード」は、皆様に理解されているのか。もっと分かりやすい言葉に言い換えてみよう、といった内容でした。日常の会話でも話をする時はもう少し相手に寄り添った話し方・言葉遣いが出来れば良いな、と思います。いつもえびす顔、という訳にはいきませんが気持ち良く会話出来るといいですね。

